

令和元年度  
足立区青少年委員会  
ブロック教育懇談会記録

足立区青少年委員会

## 目 次

1 ブロック . . . . .	3 ページ
2 ブロック . . . . .	6 ページ
3 ブロック . . . . .	8 ページ
4 ブロック . . . . .	10 ページ
5 ブロック . . . . .	14 ページ
6 ブロック . . . . .	17 ページ
7 ブロック . . . . .	21 ページ
8 ブロック . . . . .	23 ページ
9 ブロック . . . . .	27 ページ
10 ブロック . . . . .	30 ページ
11 ブロック . . . . .	34 ページ
12 ブロック . . . . .	36 ページ
13 ブロック . . . . .	39 ページ

## 令和元年度 足立区青少年委員会 第一ブロック教育懇親会

開催日	令和元年6月7日(金)	会場	足立区役所千住庁舎
時間	17:30~19:00		
参加者	足立区教育委員会(青少年課課長): 下河邊 純子 足立区青少年委員会(会長): 下川 佐智子 (11ブロック長): 加藤 清典  第一ブロック小中学校 校長 / PTA 会長 / 開かれた学校づくり協議 会長 / 青少年委員会第一ブロック青少年委員  <div style="text-align: right;">参加者合計 37名</div>		
会次第	司会進行 青少年委員会第一ブロック 稲垣委員  1. 開会の辞 2. 第一ブロック長 挨拶 3. 来賓紹介・挨拶 4. 懇談会(各校の様子、取り組み) 5. 閉会の辞		

### 懇談会(各校の様子、取り組み)

#### 1. 千寿小学校(吉川校長)

- ・4月より新校舎での運用を開始、登下校を心配していたがPTAや地域の協力もあり、大きなトラブルにはなっていない。
- ・「かしこく、やさしく、がんばる千寿の子」を目標に教職員全員で取り組んでいる。
- ・目指す学校像として4点掲げている。(千寿プライド)
  - (1).子供ファースト
  - (2).当たり前のことのできる美しい学校
  - (3).歴史と伝統
  - (4).教職員ワークライフバランス
- ・学校、家庭、地域が一緒になって教育活動を行っていききたい。

#### 2. 千寿本町小学校(増田校長)

- ・昨年度より教職員の入れ替わりが増え、今年度も3名が新卒教員となっているので学校の中で育成を図っていききたい。
- ・6/1に運動会を実施、熱中症対策で地域の方々の協力でテントを用意してもらった。今後も地域との繋がりが重要であると感じた。
- ・「あいさつ・ことばづかい一週間」を年に2回、地域の方々にも協力いただき実施。
- ・来年は統合30周年となり、今から準備を始めている。

### 3. 千寿双葉小学校（三宅校長）

- ・今年度は16クラスでスタートしたが、来年・再来年には18クラスとなることが予想され、教室が足りない状況となるので改築工事を今夏に実施する。
- ・双葉小においても、5名が新卒教員となっているので学校の中で育成を図っていききたい。
- ・児童の挨拶について、学校ではできるのだが、家庭や地域でできていないとの意見があり、「心の教育委員会」を立ち上げ「挨拶運動をどのようにしていこうか」をテーマとし、今年は挨拶劇を朝礼、児童集会で実施、相手の名前を言ってから挨拶するようにした。

### 4. 千寿常東小学校（加藤校長、蓮池 PTA 会長）

- ・今年度 PTA の役員が既定の21名でスタート。
- ・一年生の保護者から P T A に入らないようにするはどうすればいいのか、との質問が来ている。任意団体の認識が浸透してきている。
- ・常東小は他の学校とは違う取り組みを行っている。

#### (1).日光山登り

- ・往復3時間の工程で避難訓練や危機管理を想定して実施している。

#### (2).アレルギーを持つ児童へのケア

- (3).最近では家庭支援のケアが増えてきたので青少年委員、主任児童員、地域の方々の協力を頂いている。

### 5. 千寿桜小学校（田村校長、中屋開かれ会長、会津 P T A 会長）

- ・年々、児童数が増えている状況で教室数が足りなくなっている。
- ・今年度は「体験を通して学ぶ子」をテーマに授業を改善している。
- (1).理科や生活授業の充実
- (2).オリンピック・パラリンピック授業で本物を体験させる。
- ・開かれた学校づくり協議会では雛飾り、五月人形、七夕と行事に合わせた飾りつけを行っている。

### 6. 千寿第八小学校（中田校長、野原 P T A 副会長）

- ・昨年80周年を迎え、校庭が人工芝となり今年度は人工芝での運動会を開催出来た。
- ・桜小と同じくプロの選手によるボールの投げ方教室、走り方教室を開催し、体力向上に努めている。
- ・児童は完全ノーチャイム制の中で自ら時間の管理をし、行動する習慣を身に付けている。
- ・ P T A としては学校教育目標である「触れ合う、学ぶ、元気な子」に基づき昨年度に続き活動を行っていく。
- (1).「触れ合う」では千八あいさつプロジェクトを昨年同様継続する。
- (2).「学ぶ」では日本漢字能力検定を開催
- (3).「元気な子」についてはあだっボールが大人気となっておりブロックで開催される大会では希望者が多く現在では高学年のみ参加している状況

7. 千寿青葉中学校（鈴木校長）

- ・学校は非常に落ち着いており生徒も勉強に励んでいるのでこの状態を維持していきたい。
- ・今年度から建て替えが始まり、予想としては最大 5 クラスを想定しているが、一時的に増えた場合、少人数授業用も含め、最大 7 クラス分の教室数を用意する予定
- ・仮校舎は以前の千寿小学校を使用する予定だが学区域から離れてしまうため、通学がかなり遠くなる生徒もいる。

8. 千寿桜堤中学校（佐藤校長）

- ・問題としては 1 時間近くかけて通ってくる生徒がおり、学校になじむまで時間がかかっている。

9. 第一中学校（武田校長）

- ・明日（6/8）に運動会を控えているが P T A や卒業生の協力によりテントを張ってもらっている。
- ・生徒会を中心に朝のボランティア活動を月に一回行っている。全校生徒の 2 / 3 が参加。5 月はスポーツ公園の清掃を 15 分ではあるが行った。本校の校訓でもある「自ら学ぶ」が実践されている。
- ・最近では地域の活動に対しても生徒会が中心となり徐々にではあるが地域の活動に目を向ける生徒も出てきている。
- ・昨年度中学生の消火隊を結成、避難所運営訓練などに参加

# 令和1年度 足立区青少年委員会 第二ブロック教育懇談会

開催日	令和1年7月19日(金)	会場	江北桜中学校ランチルーム
時間	懇談会 18:00~19:00	懇親会 19:00~21:00	
参加者 (敬称略)	足立区教育委員会子ども家庭部青少年課管理調整係長 嵯峨浩二 足立区青少年委員会副会長 高橋 将郎 足立区青少年委員会副会長 松崎 顕治 足立区青少年委員会第12ブロック長 浅香 一浩 ①校長②副校長③開かれた学校づくり協議会会長④PTA会長⑤青少年委員 宮城小学校・①藤井基人②岸伸太郎③⑤下川佐智子④工藤隆朗 江南中学校・①水谷正博④加藤真砂美⑤田中則聡 江北小学校・①土性知法②松田安弘③青木信夫④斎藤直秀⑤矢口悦道 高野小学校・①武智勇喜②由良隆③中村幸雄④倉橋さとみ⑤伊木恒人 扇小学校・①加納和彦②鹿俣昇③福田健次④有澤通⑤遠藤滋子 江北桜中学校・①保坂朗②百瀬一郎③今西靖彦④池田初次⑤橋本博子		
会議次第	《 教育懇談会 》 司会 田中 則聡 1、開会の辞 田中 則聡 2、ブロック長挨拶 第2ブロック長 伊木 恒人 3、足立区青少年委員会会長挨拶 足立区青少年委員会会長 下川 佐智子 4、来賓挨拶 足立区教育委員会子ども家庭部青少年課管理調整係長 嵯峨浩二 様 5、会場校校長挨拶 江北桜中学校 保坂 朗 様 6、テーマ 「子どもの安心安全」について 講師 警視庁台東少年センター 主査 遠藤 晋之介 様 主任 落合 立弥 様 7、閉会の辞 田中 則聡 《 懇親会 》 司会 矢口 悦道 1、開会の辞 矢口 悦道 2、乾杯 足立区青少年委員会副会長 高橋 将郎 様 ~ 懇談 ~ 3、ブロック各校紹介 4、中締め 足立区青少年委員会副会長 松崎 顕治 様 5、閉会の辞 矢口 悦道		

【懇談会記録】

**\* SNS使用上の注意点 【 DVD 】**

言葉の使い方、受け取り方。

**ポイント**

ネット上のコミュニケーションは、相手の表情や声の調子がわからない。

**対策**

メッセージを受けとる相手がどう思うか… もう一度確認してから、送る。

**\* 自撮り被害の危険性 【 DVD 】**

**ポイント**

立ち止まり考える。顔写真くらいなら良い…×  
流出した画像は回収や削除が困難

**対策**

ネットで知り合った人はいつも本当のことを言っているとは限らない（特に匿名相手）  
プライベートの写真は「撮らない」「撮らせない」「送らない」  
不特定多数の人が見れる。フィルタリングを活用（携帯会社に相談）

**\* 特殊詐欺に加担する少年達 【 DVD 】**

「受け子」「出し子」は詐欺です。

**ポイント**      **お子さま向け**

「楽に稼げるバイトがある」といった先輩からの誘いやネットの情報は要注意。  
受け子や出し子はただの捨て駒  
自分の気持ちをはっきり言って断る。

↓

誘いを受けたら即警察へ

**ポイント**      **保護者向け**

未成年の子供がスーツを着るバイトって？  
覚えのない洋服などを持っている。（大金が入った場合）  
外出の時間が不規則

↓

悩んだら警察に相談

## 令和 元年度 足立区青少年委員会 第3ブロック教育懇談会

開催日	令和元年 7月18日	会場	武蔵屋
時間	18時30分～21時		
参加者	木島、田中、藤田、竹田、丸山、浅野、伊藤、石鍋 下河邊純子青少年課課長、 下川佐智子会長 多島三好副会長 佐藤健二5ブロック長 各校校長先生 各校PTA会長 各校開かれた学校づくり協議会会長		
会議次第	前半：下河邊青少年課課長による講話 後半：各校の現況報告		
テーマ	各校の現況と方針の紹介		

### [懇談会記録]

#### 【興本扇学園】

今年度は開かれを含めて地域と学校の関係を見直し話し合いに時間を費やすようにした。そこで夏休みを利用してサマフェスを開催する予定だったが雨の為に中止となってしまった。その思いを無くさない為に生徒ボランティアが中心となり学校の廊下を綺麗に磨こうと言うイベントを開催する事で学校、保護者、地域だけでなく生徒たちの自主性そして地域を愛する心も加わりさらに進化していこうとしている。

#### 【本木小】

なかなかPTAの役員さんのなり手がいないので学校や開かれに協力いただきPTA活動や行事の参加などもう一度見直しをする事でPTAに関わりやすい環境を作って行こうとしている。

開かれに関しては生徒達が描いた絵を地域の商店などに飾って貰うなど地域と学校の繋ぎ役となっている。

#### 【寺地小】

今年度からPTA会長が代わり役員さん達も新しい顔が沢山入った事で新しいPTA活動が始まり9月の寺地小の祭りに向けて頑張っている。

開かれなどはサタデースクールの開催や立て看板を新しくする予定など生徒達や先生方とコミュニケーションをとっている。

寺地小は来年周年を迎えるにあたり学校、保護者、地域、が意見を出し合い素晴らしい周年を催す事が出来るよう頑張っていく。



【六中】

PTA会長をはじめ役員さんの半数が新しい顔となり「笑顔で活動しよう」をモットーに学校行事を活動している。

毎年開催している六中マルシェでは沢山の生徒達が中心となって素晴らしいイベントになった。

六中は今年沢山の部活動が都大会に出場することになり学校自体の士気も上がりまた開かれをはじめ地域の協力を頂き更なる盛んな学校にしていきたい。

【西新井小】

今年度西新井小は90周年記念があり学校、保護者、地域だけでなく開かれやOBにもご協力頂き成功させていきたい。

西新井小はICT活用とプロムラミング教育の推進校と言う事でこれからの学校教育の最先端教育をする事で生徒達を伸ばしていくことに力を入れている。そんな中で開かれが中心となり農園をする事で玉ねぎやじゃがいもなどを作り土と触れ合う機会も作っている。

【西一小】

西一小は毎年秋にはPTAと開かれ協賛によるふれあい祭りを開催しているが地域の協力者の方々が高齢になるに従い負担になってしまわないようにふれあい祭り自体を改革する事で新しい協力者も探していこうとしている。

開かれの活動としては登下校の見守りボランティアの方々の感謝集会をするなどしているが基本はPTAをバックアップする事で学校を支えていこうと考えている。

【五中】

今年度より全学年2クラスとなり生徒数も少なくなったがその分生徒一人一人に目の届く教育ができるようになった。

PTA役員をはじめ会長自らも積極的に毎週あいさつ運動をする事で生徒達とコミュニケーションを取るようになっている。

最近になり生徒間でSNS上のトラブルがあり現在、学校、保護者、開かれが一体となって解決に力を注いでいる。

## 令和元年度 足立区青少年委員会 第4ブロック教育懇談会

開催日	令和元年7月18日	会場	シルビア梅島店「マーブル」
時間	17:45～19:20		
参加者	<p>来賓：</p> <p>足立区 教育委員会子ども家庭部長 松野 美幸 様          青少年委員会 宮崎 保子 副会長          青少年委員会 松崎 顕治 副会長          青少年委員会 吉川 和宏 1ブロック長</p> <p>講師：</p> <p>足立区地域のちから推進部          区民参画推進課 区民参画推進課長 寺島 光大 様</p> <p>参加者：</p> <p>第4ブロック小中学校 校長・副校長・PTA会長          開かれた学校づくり協議会会長          第4ブロック青少年委員 8名 (計51名)</p>		
会議次第	<p>1・開会の辞 山本孝志（司会）</p> <p>2・主催者挨拶 第4ブロック長 石鍋明光</p> <p>3・来賓紹介</p> <p>4・足立区教育委員会 子ども家庭部長 松野 美幸 様 ご挨拶</p> <p>5・講師紹介、講話</p> <p>6・質疑応答</p> <p>7・閉会及び懇親会案内</p>		
テーマ	<p>「多様な性」ってなんだろう</p> <p>～ LGBTに関する基礎知識 ～</p> <p>講師：足立区地域のちから推進部          区民参画推進課 区民参画推進課長 寺島 光大 様</p>		
<p><b>【懇談会記録】</b></p> <p>初めに、寺島課長の解釈による『男女共同参画社会とは』、全ての人々が性別にとらわれず、様々な分野で個性と能力を発揮し、かつ男女が互いを尊重し、共に喜びや責任を分かち合う、事であるとお話をいただきました。</p> <p>足立区では、【第7次足立区男女共同参画行動計画】と言う物を基本目標に掲げ、4つの柱を示しているとの事で以下に4つの基本目標を記載します。</p> <p>① あらゆる分野における女性の活躍推進 ～ワーク・ライフ・バランスの推進～</p> <p>② 各人の個性や多様な生き方を尊重し、相互理解が進む社会の醸成（LGBT啓発を含む）</p> <p>③ DV等の暴力の根絶と支援体制の充実</p> <p>④ 生活に困難さを抱える家庭の子供と保護者への支援 ～特にひとり親家庭への支援～</p>			

★----- 足立区調査 -----★

足立区では『性的マイノリティ (LGBT 等)』という言葉の認知度を、区民 (3000 名)、大学生 (500 名) に対して意識調査を行った所、『言葉を知っているし、内容も理解している』と言った回答が、**6 割台になった**との事でした。(以降性的マイノリティについては LGBT との略称で記載します。)そこで、参加者に向けて改めて LGBT の意味の説明がありました。

L・・・レズビアン (女性同性愛者) の頭文字

G・・・ゲイ (男性同性愛者) の頭文字

B・・・バイセクシャル (両性愛者) の頭文字

T・・・トランスジェンダー (戸籍の性と自身のアイデンティティーが一致していない人) の頭文字

**LGBT はこれら 4 つの頭文字をとったもので、性的マイノリティの総称 (上記以外に他のたくさんのセクシャリティがある) としても使われている**そうです。

※性同一性障害とは、一定の基準 (日常生活に困難を伴い・病院に行って診断書をとる) を満たしたトランスジェンダーに対する医学的用語で、トランスジェンダーに包括されるとの事でした。

**実際に今の日本で自分が LGBT だと考える人の割合は、2018 年調査では約 8.9%ほど**いるそうです。ちなみに 2015 年調査では 7.6%だったそうです。この上昇率 (1.3point) は単純に LGBT 言われる人が増加した訳ではなく、LGBT に対する認識が深まりその中で自分が LGBT と認識できる人の数が増えた結果であると考えられる。

※例として 8.9%の割合を他に例えると、『左利きの人の割合』や『血液型が AB 型』と言った比率になるとの事でした。

LGBT の話は、

・性や恋愛だけの話ではなく、学齢期、就労期、高齢期など人生全般にわたる生活について影響してくる問題である。

学齢期：学校で『ホモ』『おかま』『レズ』などいじめられ誰にも相談できなかった、或いは親に相談したところ家を追い出されてしまった。

就労期：当事者であることが明るみに出たことで、部署移動させられてしまった、飲み会などで『男らしくなくて気持ち悪い』と毎度言われ、参加が辛い。

高齢期：偏見などから親族との縁が薄く、社会的支援が受けにくい。

・関係データ

└ 『LGBT』の 7 割がいじめ被害の経験がある。

└ 7 割の親が自分の子供が LGBT である事が『嫌だ』。

└ 40 代男性管理職の 7 割が、同僚が LGBT だったら『嫌だ』。

└ ほとんどの当事者が差別的な言動を職場で見聞きした経験があるそうです。

ゲイ・バイセクシャル男性の自殺未遂リスクについては、

└ 異性愛男性に比較して自殺未遂リスクは 5.98 倍高い

└ 性的思考を友人にカミングアウトしている人ほどリスクが高く、6 人以上にカミングアウトしていると自殺未遂リスクは 3.2 倍高い

トランスジェンダー手術後の自殺リスクについては、

└ 術後のトランスセクシャルは自殺企図が 5 倍、自殺による死亡は 19 倍高い

↳ホルモン治療を受けているトランスセクシャルは、自殺による死亡がおおよそ9倍高い

**★性の3要素（この3つの要素で性のアイデンティティーが決まる）**

- ① 戸籍の性
- ② 性自認（自分自身が自分の性別をどのように認識しているか）（Gender Identity）
- ③ 性的指向（恋愛対象の方向性）（Sexual Orientation）

**※SOGI（ソジ）：性自認と性的指向を組み合わせて SOGI と呼ぶ、多様な性の概念。**

**★----- 足立区調査 -----★**

足立区では『性的マイノリティ（LGBT等）の暮らしやすさ』についても意識調査を実施（2019年）、した所、『暮らしやすいとは思わない』と言った回答が、区民、学生共に多数を占めたそうです。さらにその暮らしにくい理由についても調査（2015年）を行い、

1. 『偏見や差別がある』が区民、学生共にトップを
2. 周囲の人の理解が得られない
3. 中傷されたり、嫌がらせを受けたりする（※SOGIハラ）
4. 同性のパートナーとの婚姻など法整備が不十分

といった意見が上位を占めたそうです。

**※SOGIハラ**：性的指向を言いふらす、普通じゃないからと暴力をふるう、無視、職場での不当な解雇、部署移動を受ける等々のハラスメント。

最近の動きとして、『パートナーシップ制度』と言う物がある、これは『同性カップルを自治体が公に婚姻に準ずる関係として証明』するもので、メリットとして以下のようなものがある。

↳同性カップルへの社会的理解が促進

↳自治体から発行された証明書を提示することで、アパートなどへの入居や生命保険の受け取りなどの手続きがやりやすくなる。

最初の導入は2015年11月に『渋谷区』、『世田谷区』で導入され、以後全国で20自治体（120万人超）が導入している状況であり（2019/04/01現在）、パートナーシップ制度が広く知られるようになった事で、当事者たちが自治体の制度を変えようとする動きが広まってきているそうです。

**★----- 足立区調査 -----★**

足立区では『性的マイノリティ（LGBT等）に関するパートナーシップ制度の必要性について意識調査を実施（2019年）、『パートナーシップ制度を必要』と言った回答が、約7割と言う多数を占めたそうです。

**★----- まとめ -----★**

**性の3要素に関して覚えておきたいポイント**

- ① 性の3要素は、全ての人を持っている属性である。（SOGI）
- ② 性の3要素は、自分の意志で変えられるものではない。
- ③ 性の3要素が他人と違うことは『病気』ではない

## 今日からできる事

### ① 考え方を变える

- └異性愛を前提としない（彼氏・彼女いるの？ではなく、恋人・パートナーいるの？）
- └男女を前提としない（男なら～、女らしく～と言わない）
- └結婚や子育てすることを前提としない（結婚しないの？そのうち親になるのだから等々）

### ② 行動を变える

- └差別用語を使わない（ホモ、レズ、オカマ等々）
- └他人の言動を注意する（傷つく人もいるよ、いろんな人がいて良いじゃない等々）

## カミングアウトされたら

### ① 聴く

- └あなたを信頼して話してくれている
- └話してくれてありがとう
- └安心して相談できる環境

### ② 知る

- └なぜ話してくれたのか
- └何に困っていて、何を求めているのか
- └どんな対応ならできるのか

### ③ 決めつけない

- └思い過ごしじゃない？
- └そのうち治るよ
- └否定をしたり決定を促さない

### ④ 広めない

- └本人の同意なく第3者に伝えない（アウトティングしない）
- └他に誰に話しているのか確認する

## 【性のあり方は人によって異なる】

その人がその人らしく生きる権利→【人権】何よりも大切に、尊重しあうことが大事。



## 令和元年度 足立区青少年委員会 第5ブロック教育懇談会

開催日	令和元年7月13日(土)	会場	足立区立足立小学校
開催時間	懇談会 14:30～16:30 懇親会 17:00～19:00		
出席者	第四中学校 高橋校長、吉澤PTA会長、多島青少年委員 第十一中学校 星校長、田中PTA会長、前島青少年委員 足立小学校 角田校長、米村PTA会長、吉澤青少年委員 弥生小学校 佐藤校長、倉田PTA会長、小沼青少年委員 弘道小学校 星崎校長、砂田青少年委員 弘道第一小学校 佐々木校長、佐藤PTA会長、佐藤青少年委員 足立区教育委員会子ども家庭部青少年課 嗟峨係長 青少年委員会 下川会長、遊馬副会長、小田川第十三ブロック長		
会議次第	1. 青少年委員会他あいさつ 2. 教育懇談会 3. 総括・講評 4. 懇親会		
テーマ	「小中学校の教育環境の変化に対応した取り組みについて」		
[懇談会記録] 今年度の教育懇談会は足立小学校を会場に「小中学校の教育環境の変化に対応した取り組みについて」をテーマに意見交換しました。			
<内 容> 5ブロック内の6校の小中学校の校長、PTA会長から「子供たちの安心・安全を確保するための対策」と「教員の働き方改革の取り組み」についてのご意見を皆さんから頂きました。また、各校のPRも併せてお願いしました。			
【懇談会模様】 ◇各学校長からのご意見			
◇各校PTA会長からのご意見			
◇まとめ			
別紙参照			

<各学校長からの意見>

- ・働き方について、昔と今と比較しても内容の変化はあったが変わらない。
- ・学校の先生が気持ちよく働ける環境づくりが大切だと強く思います。
- ・我々が仕事をしている中、減らすものがないという現実を現場内で見直して行くことが必要であり、それを進めていくことが本来の働き方改革になると思う。
- ・中学校の部活動は休養日をつくる、時間、日にちの制約が入って来ている。各家庭も承知及びご理解をしていただきたい。
- ・小学校の子供たちの安全は、PTAの皆さんが朝の取り組みをしっかりと行っているため安心です。下校時は1～6年生の幅があり心配ですが、子供たちの指導、保護者への呼びかけをしています。
- ・若い先生の使命感のある人・ない人など、いろいろなタイプの先生がいて、指導についても考えなければならない。一生懸命に仕事をしている先生も多い。
- ・毎日、綾瀬警察署の警官の方が学校へ見回りに来ています。
- ・足立小は近くに警察の駐在所があり安心です。
- ・教育現場の現状は個別対応がさまざまな面で求められている。保護者の方に納得の得られるような取り組み、対応を行っています。
- ・保護者の方は協力的で熱心な方も多いが、我が子のことになると、学校の責任にすることが多い。
- ・教員は土日に行われるPTA、開かれた学校づくり協議会、地域の活動の参加に負担を感じるようになると考えられる。
- ・今一番感じるのは、小学校は情報の量と質と伝達が遅い、社会と保護者がその点では進んでいる。
- ・働き方改革は学校の本務・雑務に対しICTを使って効率化するような時代である。また、教員もやりたくてやっていることも多い。

<各校PTA会長からの意見>

- ・学校は何か起こった時の対応は決まっていると思います。学校にもいろいろな状況があり、早く対応している状況がわかると保護者も安心します。
- ・十一中のPRとして毎月の花むすび活動、PTAおやじも会の活動を積極的に行っています。
- ・教育委員会は、学校からの相談があれば何か聞くという体制ではなく、実際に先生が動かなくてもいいような状況をつくる事が必要ではないか。
- ・保護者から学校へのクレームの話を聞く。保護者の質が下がっている。子供が言ったことを聞き先生に文句を言う状況があります。
- ・PTA・保護者は、限られた時間の中で選択と集中で安全・安心をどう守るかが今の時代は必要である。
- ・PTAよりPTAのスポーツが大きくなり、ハンドリングが出来ない状況がある。
- ・安心安全は、先生と保護者、地域の皆さんが協力していく事が大切だと思う。

<まとめ>

本日はテーマの安全から PTA のあり方や情報の話もする事ができ、また働き方改革から組織、業務にまで話が及びいろいろな切り口で様々な事を考えられたと思います。

学校は多くの人に関わっているため、一人でも多くの方の納得ができるところで解決を目指し、それができない場合は個別に対応していくことが大切であると思います。

教員の業務は増えていくものではあるが、そうしないために限られた時間の中で子供にとって何が必要か、何が安全に繋がるかがキーワードになる。

若手の教員が増えている現状では、学校だけで育てていくのは困難な状況である。

保護者・地域の皆さんに褒めていただく、認めていただく事が必要だと思います。教員と一緒に育てていってもらえればと思います。



令和元年度 足立区青少年委員会 第6ブロック教育懇談会

開催日	令和元年7月3日	会場	長門小学校 体育館
時間	18時30分～19時45分		
参加者	講師：こども支援センターげんき 支援管理課 課長 門藤 敦良 氏 講師：こども支援センターげんき 支援管理課 発達支援 係長 長谷川 敦子 氏 こども支援センターげんき 所長 上遠野 葉子 氏 足立区子ども家庭部青少年課 課長 下河邊 純子 氏 足立区青少年委員会 会長 下川 佐智子 氏 足立区青少年委員会 副会長 多島 三好 氏 足立区青少年委員会 副会長 高橋 将郎 氏 足立区青少年委員会 第4ブロック長 石鍋 明光 氏 綾瀬小学校・東綾瀬小学校・東加平小学校・東湊江小学校 北三谷小学校・大谷田小学校・長門小学校・東綾瀬中学校 蒲原中学校【9校の校長・副校長・PTA会長・青少年委員】 各校10名以上の保護者 計125名		
会議次第	司会・開会 伊藤委員 主催者挨拶 佐宗ブロック長 来賓紹介 寺元委員 来賓挨拶 足立区青少年委員会 会長 下川 佐智子 氏 足立区子ども家庭部青少年課 課長 下河邊 純子 氏 講演 「足立区における特別支援教育」 記録 天野倉委員 質疑応答 講評 長門小学校 校長 會川 大和 氏 閉会 大塚委員		
テーマ	足立区における特別支援教育		
[懇談会記録] <u>こども支援センターげんき 支援管理課長 門藤 敦良様</u> 現役の校長職にある。平成6年から足立区に異動し十中、四中、十三中を歴任。 十中：情緒通級学級、四中：夜間学級、十三中：特別支援教室固定学級知的 が設置されている学校である。 皆さんには足立区に特別支援学級があること、どういう生徒が通っているのか、周り からどのようなサポートが必要か、皆さんのお子さんが仲間としてどのように向き合っ て頂きたいかを知って頂きたい。また、発達障害に対し親御さんが苦勞していることを 聞いて頂きたい。			

◆こども支援センターげんきについて

- ・西新井から徒歩4分の場所にこども支援センターげんきがある。
- ・「支援管理課」、「教育相談課」、「こども家庭支援課」の3課がある。
- ・「特別支援係」にて就学相談を受けている。

◆各種制度

- ・足立区では固定学級や通級指導学校がある小中学校が多くある。
- ・介助員：どうしても外に行かないと気が済まないお子さんの介助や授業中サポートが必要なお子さんへの介助
- ・特別支援教室（コミュニケーションの教室）：足立区小中学校全てに配置される。各学校に専門の先生1名を配置する努力をしている。1日中専門医がいるメリットがある。小学校は1700名弱、中学校は220数名が利用している。

※覚えてほしいこと：

特別支援教育は難しいことではない。寄り添うこと、相手を理解すること。情報を得て家庭でお子様と話をして頂きたい。

こども支援センターげんき 支援管理課 発達支援係長 長谷川 敦子様

- ・0～15歳の子供の発達に関する相談を年間約1,200件受けており小学校のお子さんの相談が増えている。中でも小学校1年生の相談が多い。
- ・相談を受けた後、必要な評価を行い得意・不得意なものを親御さんと相談している。
- ・その後学校に伝え学校生活で工夫できることを考える係である。

◆気になるお子さんについて

【事例1】

- ・友達とのトラブルが多く、すぐに手が出てしまう。
- ・相手の言葉を言葉通りに受け取ってしまう。相手には他意はなく、トラブルとなる。

【対応例】

- ・家庭で丁寧に話を聞いてあげてほしい。イラストを活用して聞くのもよい。
- ・覚えておくことが苦手な場合があり、言葉だけでなくイラストを活用すると理解しやすく、判断が付きやすくなる。
- ・「イライラ解決表」は感情をいくつか表現したもので、活用することで現在の感情を伝えることができる。

【事例2】

- ・同じ友達とトラブルが多く、すぐに手がでてしまう。
- ・暴言を言うことで相手が止まってしまうことを学ぶお子さんもいる（誤学習）。
- ・暴言に効果があるので繰り返しその言葉を使用するようになる。
- ・手を振り上げる、殴る仕草も効果があると思ってしまう。

【対応例】

- ・親として怒ったとしても効果はない。どのように言えばいいかを教えてあげるべき。

- ・間違っで学んでしまっているのので、正しい学びを周りの大人が教えてあげることが大切。悪い行動に目が行きがちだが正しい行動をいかに増やしてあげるかが疎外感を減らせていける。

### 【事例3】

- ・会話が噛み合わない。大人に言われていることが分かっていないかも知れない。
- ・知的な遅れがないにも関わらず、質問の回答がトンチンカンだったり、昨日が何を指すのか分からない子もいる。

### 【対応例】

- ・想像ができてないので、具体的な物や写真を見せながら話すと話が広がっていくことがある。
- ・例えば運動会といっても漠然としてしまうので具体的なエピソードを話すこともよい。

### 【事例4】

- ・会話が噛み合わない。
- ・質問を遮ってでも一方的に話してしまうお子さんがいる。

### 【対応例】

- ・話す順番があって会話が成立するので、どちらがしゃべる番かの合図をすることで話がしやすくなる。
- ・表現の仕方が分からない場合もあるため、言葉が違うと思った時には分かりやすい言葉を教えてあげると会話が上手になっていく。
- ・子供は会話を学んでいる最中であり、大人が正しい日本語の手本を見せてあげて頂きたい。その場合、否定的ではなく肯定してから教え、次にその言葉を使った時には褒めてあげること。
- ・「早くして」も抽象的な表現で分かりにくい。時計を見ながら具体的時間を示すべきである。
- ・「よそ見なししないで」は具体的ではなく、「よそ見しないで先生を見て」と言えば判りやすい。
- ・例え話が分からないお子さんがいる。「なぜ意地悪するの？」ではなく、「〇〇ちゃんにもハサミ貸してあげようね」と具体的な行動を話せば理解しやすい。

### 【事例5】

- ・忘れ物が多い。何を準備していいかが分からない。

### 【対応例】

- ・分類をしてあげると効果がある。例えば算数に関連するものには青いシールを貼るなど。
- ・週末だけ持ち帰るものなどは連絡ノートに書いたり、ランドセルを開いたところに書くなどもよい。
- ・字だけで分からない場合はイラストや写真を活用すると分かりやすくなる。
- ・片付けするための箱に写真を貼る工夫もよい。引き出しの片付けも同様である。

### 【事例6】

- ・学習について。文字の読み書きが苦手である。

### 【対応例】

- ・順序立てて考えられる子と、考えられない子がいる。
- ・ノートを書くのが苦手な子の場合、重要な部分だけ色分けしてあげるだけでも大きな効果がある。
- ・書き順を教える場合、順番を覚えることが得意な子には全体を覚えさせるのではなく、一画ずつ教えて覚えた方がよい。部首ごとに覚えてもよい。（日と青で晴など）
- ・まとめて字を見た方がよい子もいる。
- ・理解の仕方に特徴のある子の場合、先生や私たちに相談をしてください。発達検査などで説明できる。
- ・字の見え方も子供によっては違う。文字と認識できない場合もある。その場合、色を付けたら困って読むところを教える方法もある。
- ・書くことが苦手な場合、本人にとってはつらいことである。

※子供の特性・特徴に合わせた教育が特別支援教育である。

※急に物事を伝えるのではなく、事前に伝え見通しをたてさせてあげるようにすれば次の行動に移すことができるようになり集中しやすくなる。

※合理的配慮（「平等」と「公正」）：平等と公正は違う。皆が同じ思いをできるように配慮する。

### 【質疑応答】

Q1：昔と今の子供たちの違うところは？

A1：昔は皆貧しかったので遊ぶ時も皆で遊んだ。そのためコミュニケーションができていた。今は一人または二人遊びが多く相手に関する関心が薄い。自分と違うものに対して攻撃する場合もある。昔も今も支援が必要な子はいたが周りが変わっていつている。

Q2：見通しを立てさせることを実践しているがやめるタイミングは？

A2：お子さんが困らなくなった時である。タイミングは本人が決められると思う。

### 【講評】

#### 長門小学校校長 會川 大和 様より

長門小学校の5年生は本日鋸南から帰ってきました。鋸南ではテレビもゲームもない環境で子供たちの関わりは豊かになっていく。その結果、思いっきり泣いたり、遊んだりと様々なことを全力でやるようになる。その姿が大事だと感じた。

これからはそれぞれの違いを認め合う時代になってくると言われている。今日の教育懇談会で教えて頂いた内容はとても大事なことであり、私たち大人が理解を深め子供に伝えていかなければいけない。

本日は夜遅くまでありがとうございました。

以上

## 令和元年度 足立区青少年委員会 第7ブロック教育懇談会

開 催 日	令和元年7月11日(木)	会 場	足立区立辰沼小学校 ランチルーム																								
時 間	17時～18時30分																										
参 加 者	足立区教育委員会 青少年課長 下河邊 純子 青少年委員会下川会長・宮崎副会長・松崎副会長・佐宗第6ブロック長 第7ブロック地域 幼小中高・学校長・園長・PTA 会長・協議会会長 主任児童委員 スポーツ推進委員 青少年委員 計 47名																										
会 議 次 第	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;"></td> <td style="text-align: right;">司会</td> <td>菊地委員</td> </tr> <tr> <td>開会の辞</td> <td></td> <td>菊地委員</td> </tr> <tr> <td>青少年委員会 主催ブロック挨拶</td> <td></td> <td>山田委員</td> </tr> <tr> <td>青少年委員会挨拶</td> <td style="text-align: right;">会長</td> <td>下川佐智子様</td> </tr> <tr> <td>教育委員会挨拶</td> <td style="text-align: right;">青少年課長</td> <td>下河邊純子様</td> </tr> <tr> <td colspan="3">懇談会（グループディスカッション形式）</td> </tr> <tr> <td>講評</td> <td style="text-align: right;">足立区立辰沼小学校校長</td> <td>瀬谷 智代様</td> </tr> <tr> <td>閉会の辞</td> <td></td> <td>金子委員</td> </tr> </table>				司会	菊地委員	開会の辞		菊地委員	青少年委員会 主催ブロック挨拶		山田委員	青少年委員会挨拶	会長	下川佐智子様	教育委員会挨拶	青少年課長	下河邊純子様	懇談会（グループディスカッション形式）			講評	足立区立辰沼小学校校長	瀬谷 智代様	閉会の辞		金子委員
	司会	菊地委員																									
開会の辞		菊地委員																									
青少年委員会 主催ブロック挨拶		山田委員																									
青少年委員会挨拶	会長	下川佐智子様																									
教育委員会挨拶	青少年課長	下河邊純子様																									
懇談会（グループディスカッション形式）																											
講評	足立区立辰沼小学校校長	瀬谷 智代様																									
閉会の辞		金子委員																									
テ ー マ	『子どもたちの豊かで安全な学びの為に私達は……』 （学校、家庭、地域が連携した支援体制を整備し、子どもたちが安心して学校生活を送ることができる活動のために）																										

### [懇談会記録]

#### \* SNS 問題

- ・ 自宅の玄関先など個人が特定される動画を50回以上アップしている児童の保護者に注意喚起を促したいが保護者に全く危機感がなく保護者会へ参加いただけない
- ・ 写真購入ができるページがあり、LINEに載せてしまい拡散され個人情報の流出となった
- ・ 児童のSNSに対する家庭でのルール作りがされていない
- ・ 保護者など大人のSNSに対するマナーが守られていないため児童に対して指導などできない
- ・ 現在問題になっている企業の悪ふざけ動画など損害賠償の対象になっているが、児童生徒、保護者など大人を含め法律に対して無知
- ・ ネット上のいじめ（いじめる側といじめられた側）双方の原因追求
- ・ TVを見ている感覚で参加して投稿してしまう
- ・ 友達にだけ送った動画をその友達が拡散してしまう
- ・ 以前はLINEやメールなどの指導を行っていたが現在は動画の配信などが問題となっている
- ・ 子ども同士のたわいもないケンカを大人が動画を配信して拡散させ子どもの思いとは関係なく炎上する
- ・ 気に入らない児童生徒に対して事実ではないことをSNSで拡散させ事実が捻じ曲げられ炎上する
- ・ スマホに支配され子どもたちの学力に影響が出ている
- ・ SNSの普及により友達と直接会話することが減りコミュニケーションがとれない子どもが増えている

#### \*不審者・交通安全・環境 問題

- ・ 放課後の遊び場が少ない
- ・ 昨今多発している交通事故により児童・生徒の登下校が心配

- ・『子ども110番』など地域で子どもを守ろうという気持ちはあってもなかなか機能しない
- ・Aメール等の活用から不審者情報などが得られるが、下校時間にはりついていられない
- ・子どもの遊びに親が関心を持たず、危ない遊びをしていても注意しない
- ・子ども達の言葉遣いが悪い
- ・地域での声掛けに対して子どもたちが「知らない人」と認識しているためどう関わっていいかわからない
- ・土手の工事により車の交通量が変わり通学路が危険

#### 改善策まとめ

- ・現在も学校ではセーフティー教室などで SNS にかかわる指導を行ってはいますが、小学生から一歩踏み込んだ厳しい指導を行う
- ・ファミリーe ルールの活用（家庭でもルールを作り）
- ・学校だけではなく保護者も SNS の危険性を認識して子どもへ指導する
- ・セーフティー教室等へ子どもだけではなく保護者にも参加いただく
- ・携帯を子どもに持たせることについて保護者の責任下にある事の認識をしてもらう
- ・SNS によるいじめや不登校、情報を収集し早めに対応、初動が大事
- ・SNS に安易に情報を流出することで損害賠償が請求されるなど裁判に発展する恐れがあることを認識する
- ・携帯利用の時間の制限、夜間自分の部屋に携帯を持ち込まないなど家庭でルールを作り守れなかった時の約束も決めておく
- ・小学校・中学校まではスマホの管理を親が行う
- ・保護者は地域・学校の行事に積極的に参加する
- ・子どもと大人の交流の機会を増やす
- ・子どもの言葉遣いの悪さについては子どもだけでなく親にも注意が必要
- ・まずは、家庭で子どもとコミュニケーションを重ねることが大事
- ・Aメール等の不審者情報を地域の方にも受信していただき見守っていただくなどの協力を得る
- ・危険な通学路には地域と連携しポールをたてるなど、近隣の方に見守っていただくなどの協力を得る

#### 感想

今回の懇談会から、学校・保護者・地域でそれぞれの取り組みや活動を通じて、子ども達に迫る身近なトラブルを私たち大人が見守り育み、育てていきたいという思いがありました。

子ども達を守るのは大人です!!これからの活動に今回の懇談会が生かされればと思いました。

文責 木村 佳代

## 令和元年度 足立区青少年委員会 第8ブロック教育懇談会

開催日	令和元年 7月26日	会場	江戸一万来館綾瀬
時間	18:30~19:30		
参加者	青井中：大瀧校長・山田PTA会長・関根委員 栗島中：金子校長・森村PTA副会長・平田委員 東島根中：宮下校長・平山PTA会長・速水委員 青井小：齋藤校長・金井PTA会長・小宮委員 栗島小：八木校長・北村PTA会長・澁谷委員 加平小：金泉校長・大久保PTA会長・杉村委員 平野小：葛谷校長・木村PTA会長・鈴木委員 東栗原小：伊地知校長・宮本PTA会長・嶋田委員 青少年課：嵯峨係長 青少年委員：会下川会長・高橋副会長・多島副会長・木島3ブロック長		
会議次第	1.開会の言葉 澁谷委員 2.主催者挨拶 嶋田ブロック長 3.学校長挨拶 栗島中学校長 金子 哲朗 様 4.講演 テーマ：《ペアレント・メンターから見た いろいろな困り感の理解と子育て》 講師：一般社団法人ねっとワーキング 日笠 よう子 先生・町田 彰秀 先生 5.講評 青少年委員会 下川 佐智子 会長 6.閉会の言葉 平田委員		
テーマ	《ペアレント・メンターから見たいろいろな困り感の理解と子育て》		

### **[懇談会記録]**

8ブロックでは、昨年のインクルーシブ教育「特別」から「当たり前」というテーマに引き続き、発達障がいにかかわる講習を行いました。昨年度は指導教諭（教育者）による講演に対し今年度はその講演を保護者をお願いし、目線を変えた講習としました。下川会長より「扱いの難しいテーマで、得てして暗くなりがちな講習を優しく、朗らかな講演内容でうかがえて良かった、との講評を頂戴しました。

ペアレント・メンターとは、ペアレント（親）メンター（相談者）ということで、子育てに何らかの不安や困り感を持ち試行錯誤してきた経験があり同じような子育てに悩む方の相談や集いを目的として傾聴や発達障がいなどの基礎講座など受講修了し引き続き学びを続けている保護者です。\*ペアレント・メンターの養成と活用は厚生労働

省の発達障がい支援施策体制の整備事項として挙げられています。

活動としては、ぴあトーク（個別相談）・ぴあサロン（グループ茶話会）・キャラバン（研修会・講演会）・コメンテーター派遣（グループワーク）などがあるそうです。ペアレント・メンターの利用者の相談内容は、本人の行動（ADHA多動が多い）や進路、就職、その他でお母さん自身がどう対応して良いかや、お父さんが現実を認めない・受入ない事の相談が多く、また年齢的には4才児や小学校の高学年で進路に悩む相談が多いそうです。

誰にでも普通に見られる「困り感」はあるが、たび重なる「困り感」、度を越した「困り感」は本人では対応できない原因があり、それは発達障がいの傾向なども考えられるので「困り感」からの気づきそして、対策へとつなげる必要がある。困り感の原因のひとつには本人の努力不足や親のしつけではなくて、脳の機能に起因することがあり、共通の話題が出来なくなりみんなと一緒に居られないとか、頑張っても出来ないとか、自分でも説明できないなど、発達障がい・軽度の知的障がいなどの可能性も視野に入れておきたい。

#### 日常にみられる発達障がいの困り感の例

- ① 不注意・多動・・・まわりに注意が払えない
- ② 感覚の特徴・・・意識感覚機能が働かない。学習（読字）障害などや光や気温の苦手など・・・
- ③ 気持ちのコントロール・・・「急な変更」という予定外に気持ちの切り替えが苦手。集中して動けないなど。こだわりも集中力としてポジティブに活かせることもある。
- ④ コミュニケーションの苦手・・・言葉をそのまま受け取る。伝えることが苦手。誤解を生みやすいので「曖昧」や含みをこめないわかりやすい伝達が仕事などでは勘違いや取違を防ぐ。
- ⑤ 協調運動機能の不具合・・・ボールを使った運動が苦手。タイミングよく動けない。対処の工夫を環境に取り入れると、ご高齢者などの生活環境としても安心。
- ⑥ 実行機能の不具合・・・掃除の例をあげると、「片付いた部屋のイメージ→物を仕分け



る→収納する→ほこりを落とし→掃除機かけて→ふき掃除」の段取りができない。興味ある所のみ意識がいつてしまう。

### ■「発達障がい」の定義

発達障害とは自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他これに類する脳の機能障害であって、その他の症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めているもの

～H16.12.10試行発達障害者支援法より～

### ■主な発達障害の特徴

- ① 自閉スペクトラム症：「対人関係が苦手」で「こだわりが強い」など
- ② 注意欠如・多動症：「そそっかしく」て「落ち着きがなく衝動的」など集団の中で逸脱してみえることがある
- ③ 学習障害：読み書き、計算など、特定の学習に困難がある

困り感～「発達障がい」の懸念・・・本人の努力では解決できない。原因をそのままにしてしまうと、二次障がいの表出（うつ・パーソナリティ障害・統合失調症など・・・）

困り感の理由を考える・・・だらしがない？忘れ物が多い？：お母さんが見てあげていないから？ 説明が苦手？あいさつが苦手？：お母さんが先に話をしてしまうから？字を書くのが苦手？などその子の特性はあるか。感覚の特性・理解力・注意力・こだわり・・・など

家族が自分の子どもの障がいに気づく頃・・・軽度の知的障がいの子の親は、その捉え方に悩み、行きつ戻りつしながら、子どもと親の進むべき場所を探します。

保護者の苦しさ・・・お母さんに存在するたくさんの事情・背景（周囲の理解がないなど）。障がいと向き合う前に必要な多くのこと＝不安・迷いを取り除いた心の準備

ペアレント・メンター経験者だからこそその利点

- ① 「子どものこと」はひとまず横に置いて、まずはご家族の不安や気持ちを和らげる

② 年齢や所属の境目なく利用できて情報交換ができる

③ ニーズや感想が寄せられるので、口コミ情報を整理してお伝えできる

もしも、身近に気になる子がいたら・・・特別に苦手なことがあるかもしれない

・・・理由があつてのことかもしれない

・・・ご家族も困っているかもしれない

こころにワンクッションで接してほしい。

障がいが見えにくい人たちの「困り感」には原因があり、環境が少し変わるとその子の

「困り感」が無くなるあるいは少なくなる。すると周囲の人の困り感も・・・・・・・・

同じ状況で困っている人には絶対的平等でなく、相対的平等で合理的配慮を!!

## 令和元年度 足立区青少年委員会 第9ブロック教育懇談会

開催日	令和元年7月5日	会場	花畑 桜花亭
時間	18:30~20:30		
参加者	青少年課係長 嵯峨係長 ・ 青少年委員会 下川会長 同田中副会長 ・ 遊馬副会長 同第8ブロック 嶋田ブロック長 各校校長・副校長 16名 PTA 会長・副会長・役員 24名 開かれた学校づくり協議会会長 5名 青少年委員 8名		
会議次第	<講演会> 第1部 司会 上田委員 開会の言葉 上田委員 ブロック長挨拶 芦川委員 青少年課挨拶 嵯峨係長 青少年委員会会長挨拶 下川会長 来賓紹介 古川委員 9ブロック活動・役割 村上委員 質疑応答  第2部 懇親会 司会 眞田委員 乾杯 花畑西小 校長 歓談 各校 PR・くじ引き 中締め 花保小開かれた協議会会長 閉会の言葉 森 委員		

[懇談会記録]

2部構成にて開催

第1部 講演会

青少年委員の活動、役割を PowerPoint にて説明した。

1、青少年委員とは

2、青少年委員の役割について

3、青少年委員会活動

4、全体活動について

5、第9ブロックの活動について

6、個別活動について など

第2部 懇親会

第1部とは違い、和やかな雰囲気の中で、親睦を深めた。

各学校校長、副校長、PTA 会長と、新しく着任された方々も

いらっしゃるので、学校紹介で紹介された。

恒例の各校「学校自慢」も学校のカラーが出ており、年々

トーク力が増し時間内に話きれない学校もあり、盛り上がった。

自校の良いところを発表しきれないということは、素晴らしい

事だと思った。

毎回、手作りの会のため、終了時には参加者の方々が片付けを手伝ってくださり、9ブロックの結束力、『絆』を感じることができた。

懇親会を通して、さらに青少年委員の活動・役割の理解をしていただき、これからの活動がより良いものになると感じた。



## 令和元年度 足立区青少年委員会 第10ブロック教育懇談会

開催日	令和元年 6月24日	会場	竹の塚地域学習センター																										
時間	18時00分から20時30分																												
参加者	青少年委員会（下川会長、田中副会長、遊馬副会長、芦川ブロック長） 教育委員会青少年課（下河邊課長） 澁江町会自治会連合会（澤田会長） 青少年対策竹の塚地区委員会 澁江小学校、澁江第一小学校、保木間小学校、西保木間小学校、 竹の塚小学校、中島根小学校、澁江中学校、六月中学校、竹の塚中学校、 各学校の校長・副校長先生、PTA会長、開かれた学校づくり協議会会長 第10ブロック青少年委員（人見、大西、武田、飯島、吉田（雅）芦川、 吉田（弓）、小林）																												
	参加者70名																												
会議次第	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="text-align: right;">司会 人見委員</td> </tr> <tr> <td>開会の言葉</td> <td style="text-align: right;">吉田（弓）委員</td> </tr> <tr> <td>ブロック長挨拶</td> <td style="text-align: right;">橋本委員（人見委員代読）</td> </tr> <tr> <td>青少年対策竹の塚地区委員会会長挨拶</td> <td style="text-align: right;">芦川直實様</td> </tr> <tr> <td>澁江町会自治会連合会会長挨拶</td> <td style="text-align: right;">澤田榮介様</td> </tr> <tr> <td>青少年課課長挨拶</td> <td style="text-align: right;">下河邊淳子様</td> </tr> <tr> <td>青少年委員会会長挨拶</td> <td style="text-align: right;">下川佐智子様</td> </tr> <tr> <td>来賓紹介</td> <td></td> </tr> <tr> <td>講演</td> <td></td> </tr> <tr> <td>質疑応答</td> <td></td> </tr> <tr> <td>講評</td> <td></td> </tr> <tr> <td>閉会の言葉</td> <td></td> </tr> <tr> <td>懇親会</td> <td></td> </tr> </table>				司会 人見委員	開会の言葉	吉田（弓）委員	ブロック長挨拶	橋本委員（人見委員代読）	青少年対策竹の塚地区委員会会長挨拶	芦川直實様	澁江町会自治会連合会会長挨拶	澤田榮介様	青少年課課長挨拶	下河邊淳子様	青少年委員会会長挨拶	下川佐智子様	来賓紹介		講演		質疑応答		講評		閉会の言葉		懇親会	
	司会 人見委員																												
開会の言葉	吉田（弓）委員																												
ブロック長挨拶	橋本委員（人見委員代読）																												
青少年対策竹の塚地区委員会会長挨拶	芦川直實様																												
澁江町会自治会連合会会長挨拶	澤田榮介様																												
青少年課課長挨拶	下河邊淳子様																												
青少年委員会会長挨拶	下川佐智子様																												
来賓紹介																													
講演																													
質疑応答																													
講評																													
閉会の言葉																													
懇親会																													
テーマ	「社会教育の充実～地域との連携で絆を深めよう～」																												
<b>[懇談会記録]</b>  講演「子供の安全勉強会」  ー子供の安全を守るために大人ができることー  講師 武田 信彦氏（うさぎママのパトロール主催 安全インストラクター）.....  プロフィール 1997年、大学時代に犯罪防止NPOの活動に参加。  2006年より安全インストラクターとして活動開始。「一般市民としてできる安全のコツ」を テーマに全国で講演やワークショップなど多数実施。																													

## —子供の安全対策—

「行ってきます」「ただいま」日本独特の文化に対し外国では通園通学に保護者の付添が原則でマイカーやスクールバスを利用するなど文化の違いがある。日本は安全な国ではあるが、最近起きた川崎市でスクールバスを待つ児童らが殺傷された事件は、子供防犯に待ったなしで子供を守る安全対策の必要性が急務とされる。

『ここは大丈夫!』という聖域をあえて設けない、想定外をなくす、犯罪はどこで起こるか分からないということを踏まえ、安全対策に取り組む必要がある。子供たちのコミュニケーション能力を育むためにも、地域の皆さまとのあいさつはとても大切な練習の機会。また安全確保のためには、登下校時など、保護者やP T A、地域の皆さまの見守りの中で《一人にならない》環境作りがかかせない。しかし子供の行動範囲が広がると《一人になる》瞬間ができる。それは最も気をつけなければならない時でもある。

子供がひとりになったとき、まわりに意識を向けることは、危険を寄せ付けず、万が一のとき対処を早めるための「予防力」になる。とくに、自宅周辺など慣れている場所は、心の隙が生まれやすくなるので注意が必要になる。知らない人からお願いごとや誘いの言葉対して、「大丈夫です」は禁物。はっきり「できません」の断る一言と、不安を感じたら助けてくれる人がいるところまで逃げるなど子供ができる防犯である。

—子供の見守り活動—

子供の見守り活動として、地域の見守りセーフコミュニティがある。

市民防犯活動（防犯ボランティア）は地域の安全を高める。防犯活動していることが周囲にわかるように腕章やたすき、揃いのベストを着用し地域に安全、安心を広げられる。またあいさつや声掛けで活動を知ってもらい次世代につなげ、犯罪のおきにくい街づくりをする。間接的な防犯活動では、「気をつけてね」「大丈夫ですか」など見守っていることをアピールする声掛けをする。また直接的防犯活動では警察と連携し、非行防止パトロールをすることで防犯とともに非行防止にもつながる。パトロールでは優しい言葉での声掛けを心がけ、何かあったら声をかけてという気持ちを伝えることが犯罪抑止になる。

学校を守る点では校外委員の活動が重要である。誰か一人だけに負担がかからないように役割分担をする、活動範囲は少なくともできる範囲で続ける、パトロールや見守りの方法を変えるなど継続できる方法を考えた活動をしていく。無理をせず安全、安心の輪が消えることがないよう活動を継続することで効果も大きくなる。.....

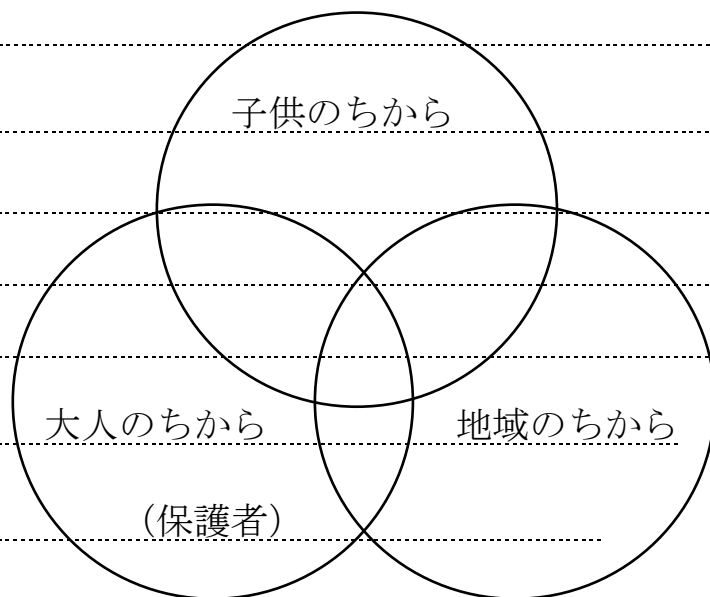
.....

.....



—子供たちを守る3つの力—

子供たちがひとりにならない環境をつくるためにも、3つの力の連携が  
とても重要になる。それぞれの立場で出来る範囲の中でできることが安全、  
見守りにつながる。予防、意識、連携をとおして「安全の免疫力」を高める  
ことができる。



—さいごに—

今回の資料を防犯活動の取り組みに活用してほしい。  
著作権や利用承諾は必要はない。地域の安全が子供たちの安全安心に繋  
がっていく。一人ひとりができることを活動につなげてほしい。

令和元年度 足立区青少年委員会 第11ブロック教育懇談会

開催日	令和元年年7月5日	会場	足立区立第十四中学校 会議室
時間	17:30~18:30		
参加者	足立区教育委員会 青少年課課長 下河邊純子 様 青少年対策伊興地区委員会 会長 元井一壽 様 青少年委員会 副会長 宮崎保子 副会長 高橋將郎 第3ブロック長 木島俊江 西新井第二小学校 校長 吉川浩司 PTA 会長 山下友美 副校長 田中岳晴 西伊興小学校 校長 中郡英一 PTA 副会長 鳴子明子 栗原北小学校 校長 吉田益己 PTA 会長 村山 新 伊興小学校 校長 井上龍夫 PTA 会長 柴 大介 東伊興小学校 校長 山下宗孝 PTA 会長 田島 実 第十四中学校 副校長 松澤 亮 PTA 会長 小野貴之 伊興中学校 校長 赤田博正 PTA 会長 那須康 西新井中学校 校長 高倉教人 PTA 副会長 木島美紀		
会議次第	司会 佐藤正浩 委員 開会 司会者 挨拶 青少年委員会 副会長 高橋將郎 足立区教育委員会 青少年課長 下河邊純子 様 講談 講師 YORIYASU 監督 進行 酒井 廣 委員 講評 伊興中学校 校長 赤田博正 閉会 司会者		
テーマ	「映画でのメッセージの伝え方」		
[懇談会記録] YORIYASU 監督が、海の環境問題をテーマに作られたアニメーション映画「嫌われ者のラス」に出てくる主人公や細菌、命を吹き込まれた鉄くず、廃油ボール等についての説明を聞いたあとに、「嫌われ者のラス」を鑑賞。 ラスは、人間が捨てた使いかけの洗剤容器とコンビニ袋が油でできた廃油ボールと引っ付いて女神から命を授かります。心優しいラスですが、動く			

たびに海を汚してしまうため海の生物からは嫌われ者。でも、魔法の粉を  
きっかけに、海の掃除屋バクと一緒に海の汚染に立ち向かいます。

ラスは海の仲間とも仲良くなり、きれいな海が戻ってきますが、最後を迎  
えてしまいます。

監督は、地球表面の7割が海。現在の海洋汚染となる要因は、法律やさま  
ざまな規制により減少傾向にあり、水質汚染の原因の60%が家庭から出  
ている生活廃水で、川へ流れた生活廃水はいずれ海にも流れ、地球全体を  
汚してしまう。人間が作った汚染物質による汚染は、人間が解決してい  
かなければならない。今できる海の環境意識を考えていただきたいとの気持  
ちから作品を作られたそうです。

この作品への思いを聞き、映画を見て、言葉の力、映像の力を感じたと  
赤田校長。とても考えさせられる素晴らしい作品で、また、YORIYASU  
監督の声と語り方、そして監督がもつ穏やかでとてもあたたかい雰囲気  
が、とても優しく、聞く側の心をつかんで離しませんでした。

懇親会では、うちの学校でもお願いしたいとの声が多く聞かれ、有意義な  
懇談会となりました。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

## 令和元年度 足立区青少年委員会 第12ブロック教育懇談会

<b>開催日</b>	令和元年7月13日(土)	<b>会場</b>	鹿浜菜の花中学校 メディアルーム		
<b>時間</b>	16時00分 から 17時30分				
<b>参加者</b>	足立区教育委員会 青少年課長 下河邊 純子 足立区青少年委員会 副会長 田中 実 第7ブロック長 山田 直美 [小学校]				
	学校	校長	副校長	PTA 会長	青少年委員
	鹿浜第一小	木村浩昌	細羽朋恵	宮本明彦	原田 勉
	北鹿浜小	宇都宮晴美	日高陽子	石塚祐二	渡邊淳子
	鹿浜西小	飯島 淳	瀧 満裕	鈴木三枝子	高橋 進
	鹿浜五色桜小	高山直也	加茂和章	萩原和男	横山良和
	皿沼小	菅原秀道	田子森好房	勝田直樹	浅香一浩
	新田学園小	土肥和久	田中琢也 村山貞則 八代麻子	廣瀬一也	倉持智光
	[中学校]				
	学校	校長	副校長	PTA 会長	青少年委員
	新田学園中	土肥和久	大島充帆	湯澤和仁	諏訪法和
	鹿浜菜の花中	勝田敏行	大久保隆一	草間裕乃	松崎顕治
	加賀中	遠藤映悟	清野淳子	太田安昭	船橋由美子
<b>会議次第</b>	[司会] 足立区青少年委員 諏訪法和 開会の辞 足立区青少年委員 諏訪 法和 主催者挨拶 足立区青少年委員 第12ブロック長 浅 香 一 浩 出席者紹介 足立区青少年委員 諏訪 法和 来賓挨拶 足立区教育委員会 青少年課長 下河邊 純子 会長代理挨拶 足立区青少年委員会 副会長 田中 実 進 行 足立区青少年委員 倉持 智光 足立区青少年委員 船橋 由美子 閉会の辞 足立区青少年委員 横山 良和				

懇談会記録

令和元年度の足立区青少年委員会第12ブロックの教育懇談会は「新科目への取り組み」をテーマとして開催いたしました。本会の進行は、青少年委員進行担当からの指名により、各校の校長・副校長・PTA会長から、新科目への様々な特色ある取組みを発表していただきました。

小学校では2020年度から、中学校では2021年度からの新学習指導要領の全面実施に伴い、時代の変化、子供たちを取り巻く環境や社会のニーズなどを踏まえ、「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力、人間性」などの3つの柱からなる「資質・能力」を総合的にバランスよく育てていくことを目指した各校の模索した取組みが発表されました。

特に、新たに導入される「外国語教育」、「プログラミング教育」、「道徳教育」を中心に各校の取組みが発表され、「道徳教育」では、プロジェクトチームを発足し、道徳の議論を行い、考えることの訓練を行っている事例や、「外国語教育」では、教科書に加え、音声や映像などを使った授業や教員向けの研修をスタートさせたなどの事例が紹介されました。また、イングリッシュ Friday と称し、毎週金曜日のお昼の放送で英会話を聞くというユニークな取組みの事例紹介もありました。小学校全般的な取組みとしては、導入される英語は、聞くこと・話すことが中心であり、外国語アドバイザーのジェスチャーを交えた話す内容を理解することに力を入れ、中学校へつなげるための英語教育に取り組んでいるという状況にありました。さらに「プログラミング教育」では、タブレット端末の導入が予定されていることから、まずはタブレット端末に慣れる訓練からスタートさせるなどの取組みが紹介されました。

我々青少年委員としても、地域社会のリーダーとして、新科目への取組みに向けて一躍を担う立場にあり、その役割が期待されていることを改めて実感いたしました。

《教育懇談会の様子》

浅香ブロック長の挨拶



下河邊課長の挨拶



来賓の皆さま



司会の諏訪委員



進行担当の倉持委員と船橋委員



懇談会の様子



以上

## 令和元年度 足立区青少年委員会 第13ブロック教育懇談会

<b>開 催 日</b>	令和元年7月1日(月)	<b>会 場</b>	懇談会 足立区立入谷南中学校 懇親会 四川菜苑		
<b>時 間</b>	*懇談会 17:00~18:30 講演会及び各校の取り組み発表 *懇親会 19:00~21:00				
<b>参 加 者</b>	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none; vertical-align: top;"> <p><b>足立区教育委員会こども家庭部</b>  <b>青少年課事業係</b>                      係長 久保文雅 様</p> <p><b>足立区青少年委員会</b>                      副会長 田中 実 様                      副会長 松崎顕治 様                      第2ブロック 遠藤滋子 様</p> <p><b>青少年対策舎人地区委員会</b>                      会 長 小金井 寛 様</p> <p><b>舎人地区少年団体協議会</b>                      会 長 小野田みよ子 様</p> <p><b>舎人町会</b>                      副会長 新井謙蔵 様</p> <p><b>入谷町会</b>                      会 長 市川 眞 様</p> <p><b>舎人自治会</b>                      会 長 笠原清子 様</p> <p><b>入谷自治会</b>                      会長代行 矢口アイ子 様</p> <p><b>古千谷本町町会</b>                      副会長 馬場和一 様</p> <p><b>舎人区民事務所</b>                      所 長 平野 実 様</p> <p><b>足立区立舎人小学校</b>                      副校長 長田清浩                      生活指導主任 阿相文子                      PTA 会長 近藤祐子                      青少年委員 館山晴美                      (欠席)</p> <p><b>足立区立舎人第一小学校</b>                      校 長 相原和子                      副校長 細田儀広                      生活指導主任 赤塚正行                      開かれた学校づくり協議会                      会長 渋谷恒男                      PTA 会長 下平 力                      青少年委員 小田川利幸</p> </td> <td style="width: 50%; border: none; vertical-align: top;"> <p><b>足立区立足立入谷小学校</b>                      校 長 添野 誠                      副校長 江幡隆志                      生活指導主任 三村哲也                      開かれた学校づくり協議会                      会長 若山克彦                      PTA 会長 清水俊幸                      青少年委員 清野美貴</p> <p><b>足立区立古千谷小学校</b>                      校 長 清澤和人                      副校長 石川雅章                      生活指導主任 米澤初美                      開かれた学校づくり協議会                      会長 緑川勝彦                      PTA 会長 添田雅子                      青少年委員 緑川勝彦</p> <p><b>足立区立入谷中学校</b>                      校 長 小出康隆                      副校長 小関清人                      生活指導主任 中山弘司                      開かれた学校づくり協議会                      会長 小金井兼広                      PTA 会長 東 直子                      青少年委員 丸岡朋子</p> <p><b>足立区立入谷南中学校</b>                      校 長 伊東 一                      副校長 石川慎一郎                      生活指導主任 大谷 忍                      開かれた学校づくり協議会                      会長 小林美奈子                      PTA 会長 寺嶋 政                      青少年委員 松田秀樹</p> </td> </tr> </table>			<p><b>足立区教育委員会こども家庭部</b>  <b>青少年課事業係</b>                      係長 久保文雅 様</p> <p><b>足立区青少年委員会</b>                      副会長 田中 実 様                      副会長 松崎顕治 様                      第2ブロック 遠藤滋子 様</p> <p><b>青少年対策舎人地区委員会</b>                      会 長 小金井 寛 様</p> <p><b>舎人地区少年団体協議会</b>                      会 長 小野田みよ子 様</p> <p><b>舎人町会</b>                      副会長 新井謙蔵 様</p> <p><b>入谷町会</b>                      会 長 市川 眞 様</p> <p><b>舎人自治会</b>                      会 長 笠原清子 様</p> <p><b>入谷自治会</b>                      会長代行 矢口アイ子 様</p> <p><b>古千谷本町町会</b>                      副会長 馬場和一 様</p> <p><b>舎人区民事務所</b>                      所 長 平野 実 様</p> <p><b>足立区立舎人小学校</b>                      副校長 長田清浩                      生活指導主任 阿相文子                      PTA 会長 近藤祐子                      青少年委員 館山晴美                      (欠席)</p> <p><b>足立区立舎人第一小学校</b>                      校 長 相原和子                      副校長 細田儀広                      生活指導主任 赤塚正行                      開かれた学校づくり協議会                      会長 渋谷恒男                      PTA 会長 下平 力                      青少年委員 小田川利幸</p>	<p><b>足立区立足立入谷小学校</b>                      校 長 添野 誠                      副校長 江幡隆志                      生活指導主任 三村哲也                      開かれた学校づくり協議会                      会長 若山克彦                      PTA 会長 清水俊幸                      青少年委員 清野美貴</p> <p><b>足立区立古千谷小学校</b>                      校 長 清澤和人                      副校長 石川雅章                      生活指導主任 米澤初美                      開かれた学校づくり協議会                      会長 緑川勝彦                      PTA 会長 添田雅子                      青少年委員 緑川勝彦</p> <p><b>足立区立入谷中学校</b>                      校 長 小出康隆                      副校長 小関清人                      生活指導主任 中山弘司                      開かれた学校づくり協議会                      会長 小金井兼広                      PTA 会長 東 直子                      青少年委員 丸岡朋子</p> <p><b>足立区立入谷南中学校</b>                      校 長 伊東 一                      副校長 石川慎一郎                      生活指導主任 大谷 忍                      開かれた学校づくり協議会                      会長 小林美奈子                      PTA 会長 寺嶋 政                      青少年委員 松田秀樹</p>
<p><b>足立区教育委員会こども家庭部</b>  <b>青少年課事業係</b>                      係長 久保文雅 様</p> <p><b>足立区青少年委員会</b>                      副会長 田中 実 様                      副会長 松崎顕治 様                      第2ブロック 遠藤滋子 様</p> <p><b>青少年対策舎人地区委員会</b>                      会 長 小金井 寛 様</p> <p><b>舎人地区少年団体協議会</b>                      会 長 小野田みよ子 様</p> <p><b>舎人町会</b>                      副会長 新井謙蔵 様</p> <p><b>入谷町会</b>                      会 長 市川 眞 様</p> <p><b>舎人自治会</b>                      会 長 笠原清子 様</p> <p><b>入谷自治会</b>                      会長代行 矢口アイ子 様</p> <p><b>古千谷本町町会</b>                      副会長 馬場和一 様</p> <p><b>舎人区民事務所</b>                      所 長 平野 実 様</p> <p><b>足立区立舎人小学校</b>                      副校長 長田清浩                      生活指導主任 阿相文子                      PTA 会長 近藤祐子                      青少年委員 館山晴美                      (欠席)</p> <p><b>足立区立舎人第一小学校</b>                      校 長 相原和子                      副校長 細田儀広                      生活指導主任 赤塚正行                      開かれた学校づくり協議会                      会長 渋谷恒男                      PTA 会長 下平 力                      青少年委員 小田川利幸</p>	<p><b>足立区立足立入谷小学校</b>                      校 長 添野 誠                      副校長 江幡隆志                      生活指導主任 三村哲也                      開かれた学校づくり協議会                      会長 若山克彦                      PTA 会長 清水俊幸                      青少年委員 清野美貴</p> <p><b>足立区立古千谷小学校</b>                      校 長 清澤和人                      副校長 石川雅章                      生活指導主任 米澤初美                      開かれた学校づくり協議会                      会長 緑川勝彦                      PTA 会長 添田雅子                      青少年委員 緑川勝彦</p> <p><b>足立区立入谷中学校</b>                      校 長 小出康隆                      副校長 小関清人                      生活指導主任 中山弘司                      開かれた学校づくり協議会                      会長 小金井兼広                      PTA 会長 東 直子                      青少年委員 丸岡朋子</p> <p><b>足立区立入谷南中学校</b>                      校 長 伊東 一                      副校長 石川慎一郎                      生活指導主任 大谷 忍                      開かれた学校づくり協議会                      会長 小林美奈子                      PTA 会長 寺嶋 政                      青少年委員 松田秀樹</p>				
<b>講 演 師</b>	《ネット・スマホのトラブル最新事情と子供を守るためのファミリJeルール》  ファミリJeルール事務局 教育企画担当 久田 暁 様				

## 各校の取り組み

### 入谷南中学校

毎年一回薬物乱用の講演会は実施していました。でも、最近ネット・スマホのトラブルが多く SNS でのなりすましやグループラインでのいじめなど数多くあります。今日のような講演会を子供たちにもぜひ聞かせて指導していきたいと思います。

### 入谷中学校

規模の小さい中学校ですが、ラインのトラブルがあります。竹ノ塚警察署の方に来ていただいてスマホの使い方をスライドを使って学習しました。スマホの使い方がルーズで夜遅くまでラインしていて、授業中に寝ている子がいるので、そうならないように指導していきたいです。

### 古千谷小学校

最近5・6年生のほとんどが携帯電話を持っています。ラインやゲームで知らない人と繋がっていたり、加工した友達の写真を勝手にアップして拡散したりなどあり、保護者会で携帯電話を持たせるリスクとトラブルを説明しています。6月に SNS の取り組み方のセーフティー教室を開催し保護者を含めて、トラブルの対策を指導をしています。夏休み前に改訂版を出します。

### 舎人第一小学校

最近ほとんどの子が携帯電話を持っています。子供たちには言葉のやり取り、表現の大切さ、携帯電話のトラブルの話しをして指導しています。セーフティー教室も開催しました。SNS で友達の噂話をし、それが原因で仲間はずれが起こったりしてますが、家庭ではそのトラブルを把握してないことが多いです。

### 舎人小学校

昨年度末、教員同士で携帯電話、SNS、ラインのことで真剣に話し合い校内では携帯電話を使わせないと決め指導しています。7月16日に5・6年生とその保護者を対象に携帯電話の関わり方について話し合いをします。

### 足立入谷小学校

運動会などの大事な行事前にラインのトラブルが多くなります。夜中の3時ぐらいまでいじっていたり、勝手に友達の写真を SNS にのせていたりして、その対応が大変です。携帯電話の関わり方のルールを学校でも指導していますが、各家庭でもきちんとルールを決め指導するようにお願いしています。

### 総評

ネット社会の現代では、携帯、スマホは切り離せない。子どもにとっても多くの子が持つ世の中。大きな世界が開かれるが、大事なのは自分と友人を守る使い方のルール作りを保護者、学校と幾重にも結ぶことが大事になる。

以上